

JICA地球ひろば公開セミナー 授業実践事例紹介

# 地域のお悩み解決プロジェクト

～食品ロス問題を解決しよう～

名古屋市立植田東小学校 脇田 佐知子

## 発表の流れ

- 1 単元計画について
- 2 小単元②について(目標・流れ)
- 3 本時について(様子・自己評価・児童の感想)
- 4 本時以外について

## 単元計画

単元名 食とわたしたち～地球的な視野で食について考えよう（全45時間）		
1学期	小単元①（全9時間） 世界の食や身近な食と世界のつながりを調べよう	
2学期	小単元②（全19時間） 地域のお悩み解決プロジェクト ～食品ロス問題を解決しよう～	
3学期	小単元③（全12時間） 学校のお悩み解決プロジェクト ～給食の残食を減らそう～	小単元④（5時間） これからの日本の食や自分の食生活 のあり方について意見文で表現しよう （総合的な学習の時間+国語）

## 単元計画

単元名 食とわたしたち～地球的な視野で食について考えよう（全45時間）		
1学期	小単元①（全9時間） 世界の食や身近な食と世界のつながりを調べよう	
2学期	小単元②（全19時間） 地域のお悩み解決プロジェクト ～食品ロス問題を解決しよう～	
3学期	小単元③（全12時間） 学校のお悩み解決プロジェクト ～給食の残食を減らそう～	小単元④（5時間） これからの日本の食や自分の食生活 のあり方について意見文で表現しよう （総合的な学習の時間+国語）

## 単元計画

単元名 食とわたしたち～地球的な視野で食について考えよう（全45時間）		
1学期	小単元①（全9時間） 世界の食や身近な食と世界のつながりを調べよう	
2学期	小単元②（全19時間） 地域のお悩み解決プロジェクト ～食品ロス問題を解決しよう～	
3学期	小単元③（全12時間） 学校のお悩み解決プロジェクト ～給食の残食を減らそう～	小単元④（5時間） これからの日本の食や自分の食生活 のあり方について意見文で表現しよう （総合的な学習の時間＋国語）

## 単元計画

単元名 食とわたしたち～地球的な視野で食について考えよう（全45時間）		
1学期	小単元①（全9時間） 世界の食や身近な食と世界のつながりを調べよう	
2学期	小単元②（全19時間） 地域のお悩み解決プロジェクト ～食品ロス問題を解決しよう～	
3学期	小単元③（全12時間） 学校のお悩み解決プロジェクト ～給食の残食を減らそう～	小単元④（5時間） これからの日本の食や自分の食生活 のあり方について意見文で表現しよう （総合的な学習の時間+国語）

## 単元計画

単元名 食とわたしたち～地球的な視野で食について考えよう（全45時間）		
1学期	小単元①（全9時間） 世界の食や身近な食と世界のつながりを調べよう	
2学期	小単元②（全19時間） 地域のお悩み解決プロジェクト ～食品ロス問題を解決しよう～	
3学期	小単元③（全12時間） 学校のお悩み解決プロジェクト ～給食の残食を減らそう～	小単元④（5時間） これからの日本の食や自分の食生活 のあり方について意見文で表現しよう （総合的な学習の時間＋国語）

## 単元計画

単元名 食とわたしたち～地球的な視野で食について考えよう（全45時間）		
1学期	小単元①（全9時間） 世界の食や身近な食と世界のつながりを調べよう	
2学期	小単元②（全19時間） 地域のお悩み解決プロジェクト ～食品ロス問題を解決しよう～	
3学期	小単元③（全12時間） 学校のお悩み解決プロジェクト ～給食の残食を減らそう～	小単元④（5時間） これからの日本の食や自分の食生活 のあり方について意見文で表現しよう （総合的な学習の時間+国語）

単元全体を通して

① 食べ物や自分自身に対する認識を深めること

② 問題解決のための行動を起こせるようにすること



## 単元計画

単元名 食とわたしたち～地球的な視野で食について考えよう（全45時間）		
1学期	小単元①（全9時間） 世界の食や身近な食と世界のつながりを調べよう	
2学期	小単元②（全19時間） 地域のお悩み解決プロジェクト ～食品ロス問題を解決しよう～	
3学期	小単元③（全12時間） 学校のお悩み解決プロジェクト ～給食の残食を減らそう～	小単元④（5時間） これからの日本の食や自分の食生活 のあり方について意見文で表現しよう （総合的な学習の時間＋国語）

## 小単元②の目標

小単元②（全19時間）

地域のお悩み解決プロジェクト ～食品ロス問題を解決しよう～

地域の食を扱うお店の食品ロス問題の探究から、食品ロスの実態や地球規模の問題とのつながり、問題解決の取り組みを知るとともに、自分たちにできる解決策を考え、実行することができる。

## 小单元②の流れ

小单元	小单元のねらい
第1次	食品ロス問題の解決の必要性に気付き、地域の食を扱うお店の課題解決に関心をもつ。
第2次	お店の食品ロスの実態や工夫を知るためのアンケートを作る。
第3次	SDGsや食品ロス削減の取り組みなど、食品ロスを様々な角度から知る。
第4次	アンケートから食品ロスに対するお店の工夫や現状を知る。
第5次	お店、お客、SDGs、などの視点から解決策を考える。
第6次	解決策をクラスで提案する。
第7次	解決策をお店に提案する。
第8次	解決策を決定し、準備をする。
第9次	解決策として作成した物を届け、設置を依頼する。
第10次	解決策の効果を知り、お店にお礼の手紙を書く。
第11次	活動をふりかえり、意義付けをする。

## 小单元②の流れ

小单元	小单元のねらい
第1次	食品ロス問題の解決の必要性に気付き、地域の食を扱うお店の課題解決に関心をもつ。
第2次	お店の食品ロスの実態や工夫を知るためのアンケートを作る。
第3次	SDGsや食品ロス削減の取り組みなど、食品ロスを様々な角度から知る。
第4次	アンケートから食品ロスに対するお店の工夫や現状を知る。
第5次	お店、お客、SDGs、などの視点から解決策を考える。
第6次	解決策をクラスで提案する。
第7次	解決策をお店に提案する。
第8次	解決策を決定し、準備をする。
第9次	解決策として作成した物を届け、設置を依頼する。
第10次	解決策の効果を知り、お店にお礼の手紙を書く。
第11次	活動をふりかえり、意義付けをする。

## 本時(第1次)の目標

飢えの現状や食品ロスの原因、  
問題のつながりや自分の関わりについて  
知り、考えることを通して、  
食品ロスの問題の解決の必要性を認識  
するとともに、課題解決のためにできること  
を考え、地域の食を扱うお店の食品ロスの  
問題解決に向けての意欲を高める。

## 本時の様子 (飢えの問題)

## ハンガーマップ

どこで何を  
している  
のでしょうか?



同年代の子ども  
の写真や動画



世界の飢えの問題に  
対する認識を深める



## 本時の様子 (食品ロスの問題)



食品ロスの問題に  
対する認識を深める

食料援助量との比較

おにぎりの  
数や長さで提示



本時の様子（食品ロスの原因）

付せんを活用して  
因果関係図を作成

食品ロスの問題に  
対する認識を深める

食品ロスの原因を  
書き出す（個人）

似ている内容を  
近くに貼る（グループ）





## 本時の様子（食品ロスの原因）



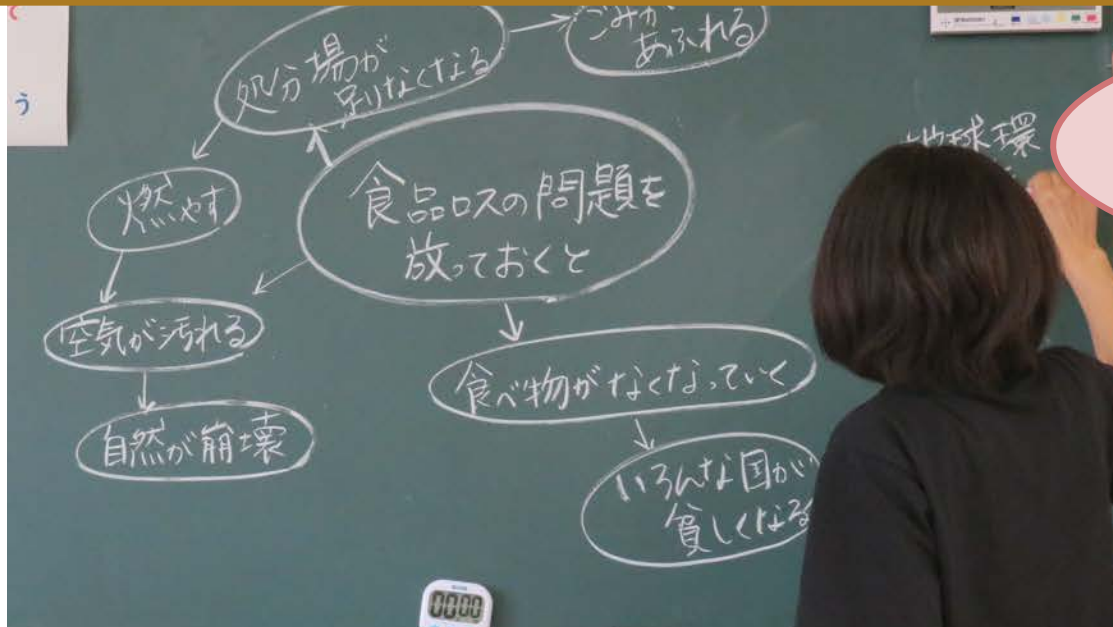
食品ロスにつながる  
ように→をかく

## 食品ロスの問題と自分との つながりに対する認識を深める

自分も関わっている  
ものに☆印をかく



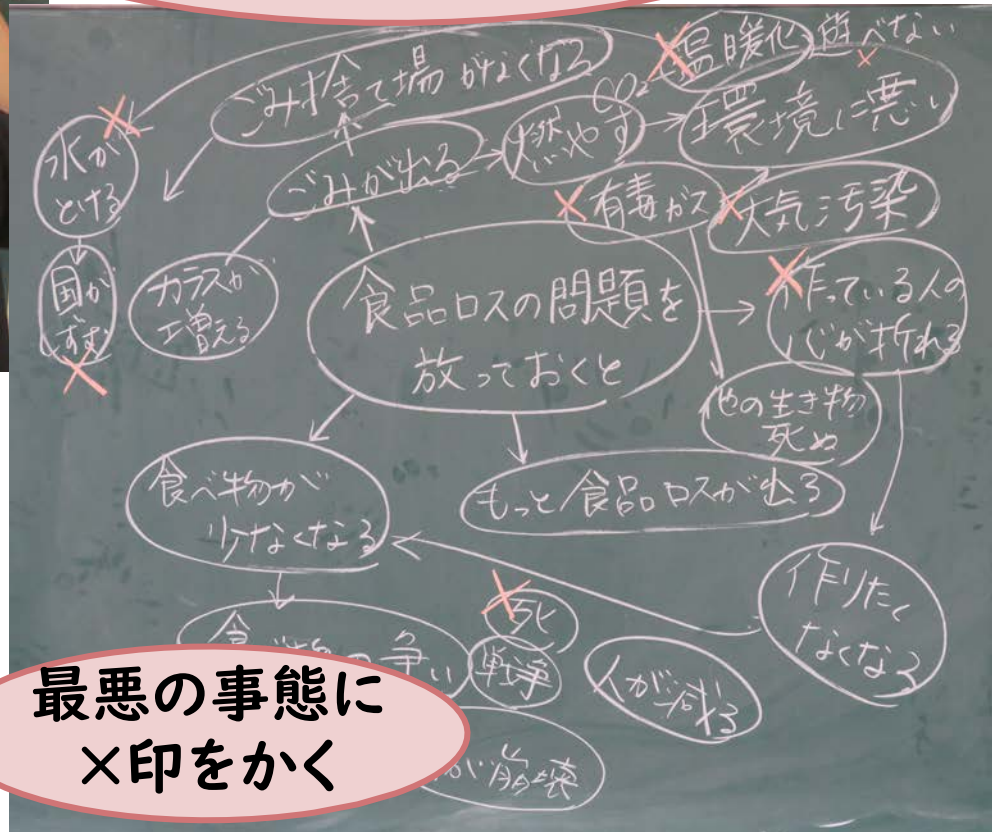
## 本時の様子（食品ロスの問題を放っておくと）



食品ロスの問題を放っておくとどうなるか考える  
(クラス全体)

## 派生図を作成

食品ロスの問題が他の問題にもつながること、解決の必要性があることの認識を深める



最悪の事態に  
×印をかく

# 本時の様子 (できること・地域のお店)

	自分	家庭 学校	地域の食を あつかうお店 地域の人
すぐ	食べ残しはしない たのみすぎない		
なんとか	自分にそろわぬものは 全部食べ切る。	消費期限の前に 食べる。 すぐに捨てる。	
がんばれば	買いすぎない 好き嫌いをいじめて 何れも食べる。	なるべく多く食べる 消費期限の長いもの も買う なるべく長持ちする もの冷蔵冷凍庫	仕入れの量を考える

	自分	家庭 学校	地域の食を あつかうお店 地域の人
すぐ	残さず食べる(給食) おれ食べられる量に おれ頼んだものは食べる		
なんとか		盛り付ける量を 人に合わせる	おすそ分けをする
がんばれば	おかわりをする(給食) 好き嫌いをなくす	兄弟の好き嫌いを いさせる。	地産地消を すすめてもらう。

解決のために  
できる事を考える  
(クラス全体)

行動表を作成

問題解決のための行動を  
しようという意識を高める

地域のお店が助けを求めている

- ①スーパー
- ②コンビニ
- ③お弁当屋
- ④天ぷら屋
- ⑤ラーメン屋
- ⑥ファミレス
- ⑦うなぎ屋
- ⑧喫茶店
- ⑨自然食品の店
- ⑩イタリア料理店
- ⑪焼肉屋
- ⑫寿司屋

## 児童の感想

- 世界ではたくさんの子どもが飢えているのに、日本はかなりの量の食べ物を無駄にしていることが分かった。
- 飢えに困っている人の食料援助より日本の食品ロスの方が多いのがおかしいと思った。
- 食品ロスは自分に関係ないと思っていたけど、自分にも関係していた。
- 食品ロスは身近なことなんだなと思った。

## 児童の感想

- 食品ロスはいいことがないから、食品ロスが起こらないように世界中のみんなで、気をつけないといけないと思った。
- 地域のお店の困っていることを知って、解決ができるようになりたいと思った。
- アンケートを取るのがすごく楽しみだから早くやりたいと思った。
- 食品ロスを減らすためにどんな取り組みが行われているのか知りたくなった。

## 児童の感想

本時の授業を受けた児童116名のふりかえりの記述内容を分類した結果

内容	件数	割合 (%)
食品ロスの問題解決の必要性を認識した記述	108	93.1
課題解決のためにできることを考えた記述	56	48.3
地域の食を扱うお店の食品ロスの問題解決に向けての意欲を高めた記述	57	49.1

## 苦勞した点

### ① 食品ロスの問題との出会わせ方、展開をどのようにするか

#### 取り組んだ内容

食べ物を十分に得られていない子ども達の映像・ハンガーマップの活用

食料援助量と日本の食品ロスの量をおにぎりの数などで比較

食品ロスの因果関係図を作成

食品ロスの派生図を作成

#### 結果

多くの児童は、食品ロスに対する認識、食品ロスと自分との関わりに対する認識が高まった。しかし、一部の児童は、自分は食べ残しをしないから自分は関わっていないという認識

## 苦勞した点

### ② お店の食品ロス問題を解決しようという意気込みの持たせ方

#### 取り組んだ内容

行動表をクラスみんなで考える

地域のお店が助けを求めている

#### 結果

児童のやる気は高まっていた。しかし、少し強引な流れであった。



## 改善点

- 食品ロスについて全く知らない児童が因果関係図作成の際に原因を考えるのに戸惑っていた。

食品ロスは、「本来食べられる食べものを捨てること」であることをきちんと押さえるべき。

- 因果関係図を作成する際の付せんの色に意味を持たせていなかった。

「最初の時点では、全て同じ色」、「他のグループの成果物を見た後に書き加える際に違う色」などの付せんの色に意味を持たせるようにしておくべき。

## 成果のあった点

- 飢えの問題、食品ロスの量の多さや、食品ロスが食料援助量よりも多いことの問題点に気づくことができた。
- 食品ロスの問題は、身近で、自分にも関係のある事だと多くの児童が気づくことができた。
- 食品ロスの問題は、何一つ良いことにつなげていないこと、食品ロスの問題は解決すべき問題であることという認識につながった。
- お店の問題を解決したいという意欲につながった。

## 第2次 お店のお悩みを知るためのアンケートをつくる



質問の分類

電話でアンケート  
の依頼



### 第3次 食品ロスを様々な角度から見る SDGsとのつながりを知る



### 第4次 お店からのアンケートを読み、 お店の実態を知る

## 第5次 お店のお悩み解決策を考える（グループ）



### ⑧ にぎりの徳兵衛



## 第6次 解決策の提案をする（クラスで）

## 第7次 解決策の提案をする(お店に)



## 第8次 解決策を決定し解決策を作成する

## 第9次 解決策をお店に届ける



# お店での掲示の様子



コンビニ

自然食品の店



スーパー

焼肉店



イタリア料理店





## 第10次 解決策の効果を知る



## 第11次 これまでの学習をふりかえる

# 単元展開中のワークスペースの様子



ご清聴ありがとうございました

